

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡

（注）令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の再拡大の影響により、旅行取扱など一部に弱さがみられるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、汎用・業務用機械や輸送機械等が上昇しているなど持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
設備投資	2年度は前年度を上回る見込みとなっている	2年度は前年度を上回る見込みとなっている	➡
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年並みとなっている	➡
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、感染拡大の防止策を講じつつ、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかにになっている」

百貨店・スーパー販売は、スーパーでは飲食料品を中心に売上が堅調に推移しているものの、百貨店では足下における感染症の再拡大の影響等により厳しい状況が継続している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移しているものの、繁華街などの店舗では足下における感染症の再拡大の影響等により客数が減少するなど厳しい状況となっている。ホームセンター販売は、日用品やDIY用品の需要等により売上が堅調に推移している。家電販売は、テレビやエアコン等を中心に売上が堅調に推移している。乗用車の新車登録届出台数は、客足の回復等により堅調に推移している。旅行取扱の状況は、足下における感染症の再拡大の影響等もあり、厳しい状況が継続している。

(主なヒアリング結果)

- 巣ごもり需要の高まりによる飲食料品の伸長のほか、富裕層による宝飾品等の高額商材の購入、インターネット販売などが一定下支えしているものの、11月中旬以降の感染者数の急増を受けて外出自粛気運が高まり、中高齢者を中心に客数が再び減少するなど、足下では影響が大きくなってきている。(百貨店・大企業)
- 在宅勤務の浸透等により引き続き飲食料品を中心とした需要は堅調。足下では、11月中旬以降の感染症の再拡大に伴う外出自粛の影響から、一人当たりの買い物点数が増加しており売上が伸びている。(スーパー・大企業)
- 感染症の再拡大による外出自粛等の影響から、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移しているが、オフィス街や繁華街、観光地などの店舗では再び客足は減少傾向にある。(コンビニエンスストア・大企業)
- 住宅街の店舗では、飲食料品や日用品等を中心に売上が堅調に増加しているが、オフィス街や繁華街などの店舗は、在宅勤務の普及による客数の減少やインバウンドの減少等がある中で感染症の再拡大による外出自粛の影響も加わる厳しい状況となっている。(ドラッグストア・中小企業)
- 足下では、感染症の再拡大の影響による旅行等への支出減少分が家電買い替えに向いているのか、来店客も増加しており、テレビやエアコンなどの高額家電を中心に販売が伸びている。(家電量販店・大企業)
- 売上が客足はコロナ前の水準以上にまで回復してきており、感染症が再拡大して以降、足下においても特段落ちているようには感じない。(自動車販売店・中小企業)
- GoToトラベルキャンペーンの停止等を受けて、特定の地域に限らず全方面でキャンセルが増加しているが、足下の感染拡大の状況やキャンセル状況を踏まえると、今後さらに下振れする可能性が高い。(旅行代理店・大企業)
- 足下では、新型コロナの第3波により客足への影響がみられるようになってきている。(飲食・大企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業指数(生産)で見ると、食料品・たばこなどが低下しているものの、自動車関連製品の需要増加等から汎用・業務用機械や輸送機械などが上昇しており、生産活動は持ち直しつつある。

- 自動車向け製品について、国内は自動車生産の回復に伴い前年並みにまで回復しているほか、海外も低迷が続いていたが、ようやく回復してきた印象。(汎用機械・大企業)
- 新型車投入効果もあって自動車需要は回復してきており、工場の稼働は高水準となっている。(輸送機械・大企業)
- 国内外において車載部品の需要が回復傾向にあり、自動車向け電子部品等の自動車関連製品は前年並みまで受注が回復している。(電気機械・大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しており、完全失業率は前年を上回って推移しているなど、雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

- 宿泊・宴会、レストラン等の現場の職員が過剰気味となっている。21年度の新規採用は、前年度比で9割以上減少させ、事務職など最低限必要な人員のみ確保する予定。(宿泊・大企業)
- 操業日の減少により、技術職を中心に人員の余剰感が出ている。正規社員については、社内で事業所間応援を行うほか、他社に一時的に受け入れてもらう等の対策を実施している。(輸送機械・大企業)
- 正規社員、非正規社員ともに過剰となっており、今後、正規社員については早期退職、非正規社員については契約の不更新を検討している。また、22年度の採用計画は中止する予定。(繊維・中小企業)
- コロナ禍における急激な需要の増加に対応するため、これまでにない人数の中途採用を実施しているところ。店舗スタッフを中心に人手不足感は継続しており、引き続き人員確保に取り組んでいる。(ホームセンター・大企業)

- **設備投資「2年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和2年10-12月期
 - 製造業では、繊維などが前年度を下回っているものの、化学、鉄鋼などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売などが前年度を下回っているものの、建設、不動産などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 自動車用ハイテン鋼板やアルミパネルの生産増強投資を計画。（鉄鋼・大企業）
 ➢ EC市場の拡大により、物流関係が好調となっているため、物流施設への積極投資を実施。（建設・大企業）

- **企業収益「2年度は減益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和2年10-12月期
 - 製造業では、輸送用機械、鉄鋼など、ほぼ全ての業種で減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業では、運輸・郵便、建設など、ほぼ全ての業種で減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **住宅建設「前年並みとなっている」**

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家などが減少しているものの、分譲マンションが増加していることから、前年並みとなっている。

➢ 分譲マンションや戸建て住宅の受注は回復傾向。しかしながら、住宅展示場等の来場者数は例年よりも少なく、厳しい状況であることに変わりはない。（建設・大企業）

■ **輸出「前年を上回っている」**

- 管内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、アメリカ向けの建設用・鉱山用機械やアジア向けの非鉄金属などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を下回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和2年10-12月期調査）の景況判断BSIで見ると、全産業では「上昇」超となっている。先行きについて、3年1-3月期は、全産業では「下降」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額で見ると、独立行政法人等や市町村などで増加していることから、前年を上回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）で見ると、家具・家事用品などが上昇しているものの、食料などが下落していることから、前年を下回っている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を下回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は弱い動きとなっている。
京都府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。
兵庫県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は弱い動きとなっている。
奈良県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部で持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの持ち直しつつあり、生産活動は下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。
和歌山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの持ち直しつつあり、生産活動は持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。
滋賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は弱い動きとなっている。